

公益財団法人青山財団

平成 23 年度 事業報告書

《 》は昨年度実績数

【事業の概況】

1. 音楽活動の奨励と助成

. 財団主催演奏会

国内の音楽事務所からの外来来日演奏家の招聘案内等をもとに検討したが、本年度は主催公演の実施は出来なかった。《0 公演》

. 財団助成公演

本年度は、財団助成公演を 71 公演《76 公演》実施した。このうち、助成条件を満たした演奏会で、ホール使用料の約 3 分の 2 を助成しその活動を援助する従来の助成公演は 65 公演（1 公演の平均助成額は、¥89,092）、青山音楽賞新人賞を希望する方の金銭的な負担を軽減し、演奏会開催の機会を持つ事が出来る「新人賞特別助成金制度」の条件を満たした演奏会で、ホール使用料、必要付帯設備使用料、標準仕様のピアノ調律料および、標準仕様の印刷代（チラシ、チケット、プログラム、招待状）を財団が負担する、新人賞特別助成公演を、6 公演《7 公演》実施した。（1 公演の平均助成額は、¥288,183）

平成 23 年度実施された財団助成公演および助成金総額は次のとおりである。

は、「新人賞特別助成公演」

演奏会日	演奏会名
平成 23 年	
4/17	中川布実子 春に歌う 第 5 回ソプラノリサイタル
4/23	荻原尚子&エルヴェ・ピヨー デュオリサイタル(ヴァイオリン・ピアノ)
4/24	村田慶子・河田菜摘子 フルートデュオリサイタル
5/1	LIEDERTAFEL 第 6 回 コンサート(ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・バリトン・ピアノ)
5/15	岡田真季 ピアノリサイタル
5/21	初田章子 フルーツリサイタル
5/22	Reunion Concert part 堀音 45 期の再会 (バリトン・ソプラノ・ヴァイオリン・チェロ・フルート・ピアノ・作曲)
5/28	佐藤友香 佐藤友香 ヴァイオリンリサイタル
5/29	矢野ゆかり 矢野ゆかり ピアノリサイタル
6/5	福島好邦 福島好邦 GUITAR RECITAL
6/12	末松玲子 西谷玲子アンサンブルシリーズ Vol.6
6/25	葛西みな子 葛西みな子 ソプラノリサイタル
6/30	伊藤加奈子 フロラン・シャレル オーボエリサイタル
7/9	上敷領藍子 上敷領藍子 ヴァイオリンリサイタル
7/10	奥田博美 奥田博美 歌曲リサイタル Vol.20
7/17	安達朋博 安達朋博 ピアノリサイタル
7/29	北村雅彦 北村雅彦 テノールリサイタル
7/30	細川利恵子 細川利恵子 ピアノリサイタル
7/31	今井 亨 今井 亨+三宅依子+小澤英世 “華麗なる饗宴” Vol.5 (フルート・チェロ・ピアノ)
8/5	真隅政大 ピアノリサイタル
8/21	メンデルスゾーン&ブラームス ~ロマン派花盛り~ (ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ)
9/2	ピアニスト村上明美 リートリサイタル 伴奏の芸術
9/11	藤井優香&辰村千花 ピアノジョイントリサイタル
9/18	木下紀章・土崎 譲 テノールジョイントリサイタル
9/19	佐野仁美 ピアノリサイタル
9/23	川村奈美子 ピアノリサイタル
9/24	樋口 藍 フルーツリサイタル
9/25	萩原恵里・吉田優子 ジョイントリサイタル(ピアノ・マリパ)
9/29	松村湧太 テノールリサイタル
10/1	佐藤満実子 ピアノリサイタル
10/2	小出ひろみ ピアノリサイタル
10/5	寄田真見乃 尺八演奏会
10/9	星山智子 ピアノリサイタル
10/15	イリーナ・メジューエワ ピアノリサイタル
10/16	土肥 敬 室内楽シリーズ 58

10/22 永野 哲 ティンパニソロリサイタル
 10/30 Trio Concert (ピアノ・ヴァイオリン・チェロ)
 11/2 クルテット エクセルシオ 第7回京都定期演奏会
 11/9 日下部祐子ソプラノリサイタル リストへの巡礼
 11/12 中田 麦 マリンバリサイタル
 11/13 ヴォーカルグループ Aurora 京都公演 Vol.
 11/20 Bach Matinee in Barochsaal (ヴァイオリン・ピアノ)
 11/23 大奥由紀子 ピアノリサイタル
 11/26 橘 茂 バリトンリサイタル
 11/27 糸井博己 テノールリサイタル
 11/30 長谷川真弓&尾藤万希子 ジョイントリサイタル(ヴァイオリン・ピアノ)
 12/1 鷹 真佑子 ピアノリサイタル
 12/2 倉田真里 PIANO CONCERT 2011 WINTER
 12/3 J.S.Bach平均律クラヴィア曲集全曲演奏会 Vol.4
 12/4 渡部延男 ギターリサイタル
 12/8 伊藤朱美子 マリンバリサイタル
 12/9 小濱妙美ソプラノリサイタル
 12/10 橋本書代&荒賀なみ ピアノジョイントコンサート
 12/21 きょうと金管五重奏団 2011
 12/22 江夏真理奈 ピアノリサイタル
 12/23 服部響子 ソプラノリサイタル
 12/24 ヴォーカルアンサンブル Kyoto 第13回演奏会

平成 24 年

1/8 第20回宮本佳計 テノールリサイタル
 1/22 牧野葵美 無伴奏ヴィオラリサイタル
 2/19 林田明子ソプラノリサイタル
 2/23 金田仁美 ピアノリサイタル
 2/26 柴田高明 マンドリンリサイタル
 3/8 溝淵悠理 メゾソプラノリサイタル
 3/10 島袋 章 テノールリサイタル
 3/11 上法 奏 ピアノリサイタル
 3/16 中嶋俊晴 カウンターテナーリサイタル
 3/17 土肥 敬 チェロリサイタル
 3/20 稲森慈恵 ソプラノリサイタル
 3/24 浅野未麗 帰国記念 ピアノリサイタル
 3/25 ブラームスとシューマン (ヴァイオリン・チェロ・ピアノ)
 3/30 西谷玲子アンサンブルシリーズ Vol.7

合 計 ￥7,520,098 71 公演 (昨年度は、76 公演 ￥8,178,255) 内、 は 6 公演 ￥1,729,098

また、財団助成公演の楽器種別では、ピアノ関係の演奏会が最も多く 25 公演あり、次いで、ソプラノ・テノールなどの声楽関係の演奏会が 21 公演、ヴァイオリン・ヴィオラなどの弦楽器関係の演奏会が 9 公演、フルート・オーボエなどの管楽器の演奏会が 6 公演、打楽器関係の演奏会が 3 公演、その他アンサンブルが 7 公演の合計 71 公演が開催された。

財団助成公演回数 平成 20 年度 ~ 平成 23 年度比較

《 》内はその中に含まれる新人賞特別助成公演の回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
23年度	3 《0》	6 《1》	4 《0》	6 《0》	2 《0》	8 《1》	8 《1》	9 《0》	11 《2》	2 《0》	3 《0》	9 《1》	71 《6》
22年度	4 《1》	8 《0》	4 《0》	5 《0》	4 《1》	9 《0》	8 《1》	14 《3》	8 《1》	3 《0》	6 《0》	3 《0》	76 《7》
21年度	6 《0》	8 《0》	8 《0》	6 《0》	3 《0》	9 《1》	13 《2》	14 《1》	9 《1》	1 《0》	4 《0》	4 《0》	85 《4》
20年度	5 《0》	4 《0》	6 《0》	2 《0》	6 《2》	8 《0》	5 《1》	12 《1》	13 《4》	2 《1》	3 《1》	4 《1》	70 《11》
15年度～ 19年度平均	5.0	4.8	3.8	2.8	4.0	7.4	7.0	10.8	8.8	1.6	2.0	4.0	60.6

・財団共催公演

本年度も、京都市立京都堀川音楽高等学校より依頼があり、2012年2月25日(土)に「京都市立京都堀川音楽高等学校 ピアノコンサート」を実施した。これは、生徒に発表の機会を与えて意欲を高め演奏レベルを上げるために、コンサート直前に音楽高校内で実施されたピアノ専攻実技試験の上位者から出演者を選抜。1年生3名と2年生6名のコンサートで、入場料は無料(整理券要)、動員は182名(昨年は196名)であった。なお、財団からの経費負担はホール及び付帯設備使用料の194,250円(税込み)で、ピアノ調律料などの実費は音楽高校に負担いただいた。

2. 青山音楽記念館の運営

音楽ホールの専用施設として会館の機能を充分発揮させるため、館内の維持管理に留意し、常に最高の状態で施設の利用が出来るよう務めた。

建物については、大掛かりな修理は無かったが、ホール天井裏の舞台照明リード線のゴム部分が経年劣化で硬化しており火花が発生。ショートする恐れがあるため改修を行った。また、事務所前アプローチ下の地中にある水道管より漏水が発生し、漏水工事およびアスファルトの復旧工事を行った。築後 24 年目を迎え、建物各所の傷みが目立ち始めている。

また、設備については、館内の電話機すべてが突然着信も発信もしなくなった。原因は主装置のシステムトラブルで、デジタル電話機の耐用年数 6 年のところ、10 年以上も使用しており、部品供給期間も過ぎていたため、総取替を行った。

ホールの利用状況については、次頁の表のとおりで、稼働率は 37.4% 《39.6%》であった。

青山音楽記念館 稼働表
ホール使用日数

単位：日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数													
平成23年度	22	19	22	23	16	23	22	21	18	17	21	19	243
平成22年度	22	20	21	24	15	23	22	20	18	19	20	21	245
平成21年度	21	21	20	24	16	22	22	22	19	19	19	20	245
平成20年度	21	20	20	21	17	21	21	24	18	18	18	19	238
平成19年度	20	20	22	21	17	22	19	22	20	19	20	21	243
平成18年度	21	17	21	20	17	23	19	22	17	14	20	21	232
演奏会													
平成23年度	3	6	4	7	2	8	9	9	11	2	3	9	73
平成22年度	4	8	4	5	4	9	9	15	8	3	8	5	82
平成21年度	7	8	10	6	3	10	13	13	9	1	5	4	89
平成20年度	5	4	6	2	6	8	7	13	13	3	3	4	74
平成19年度	3	5	4	5	5	9	6	11	12	3	3	6	72
平成18年度	6	3	5	1	5	8	9	10	4	0	2	5	58
主催・授賞式													
平成23年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成19年度	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
平成18年度	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
発表会													
平成23年度	0	0	2	0	2	0	0	0	1	1	0	2	8
平成22年度	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4
平成21年度	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	1	7
平成20年度	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	0	1	7
平成19年度	1	0	1	4	1	0	0	0	0	4	2	4	17
平成18年度	2	1	0	2	0	2	1	0	1	2	2	2	15
リハーサル													
平成23年度	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
平成22年度	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	6
平成21年度	2	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	8
平成20年度	1	2	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	10
平成19年度	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4
平成18年度	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
協賛・共催													
平成22年度	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	6
平成22年度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	4
平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	5
平成20年度	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4
平成19年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
平成18年度	0	1	2	0	0	1	1	1	2	0	0	0	8
稼働合計													
平成23年度	4	6	7	8	4	9	10	10	14	3	4	12	91
平成22年度	5	9	4	6	5	9	12	16	8	5	10	8	97
平成21年度	10	9	12	8	3	10	15	14	12	4	7	6	110
平成20年度	7	6	7	2	8	9	9	15	14	7	5	7	96
平成19年度	4	6	6	9	6	9	7	12	16	7	6	11	99
平成18年度	8	5	9	3	5	12	12	11	7	2	4	8	86

レッスン室の使用については、下記の表のとおり。5 部屋の使用時間合計は 442.5 時間《496.5 時間》で、昨年に比べ 54.0 時間減少した。部屋割りは、部屋の稼働状況や維持管理の経費を考慮して、レッスン室 2 の貸し出しは控え、ホール本番日の貸し出しは、楽屋から離れている、レッスン室 4、5 を中心に貸し出した。使用内容は、年間契約の音楽教室（ピアノ教室が週 2 講座、ヴァイオリン教室が週 2 講座）での使用が合計 333.0 時間《392.5 時間》と大半を占めた。昨年に比べ 59.5 時間減少した。原因は生徒の減少による。（但し、レッスン室 1 は音楽教室での使用は無し）。それ以外の一般使用は合計 109.5 時間《104.0 時間》で昨年に比べ 5.5 時間増加した。使用内容は、準レギュラー使用の合唱の練習を含む声楽の練習での使用が一番多く（60 時間）、次いでフルートのレッスン（28 時間）、ホールの催しとの併用、ピアノ・ヴァイオリンの練習等での単独の貸し出しであった。

レッスン室稼働表

単位：時間

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	月平均
L.1	平成23年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	2.50
		一般	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	5.0	3.0	4.0	2.0	2.0	2.0	30.0		
	平成22年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	2.25
		一般	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	3.0	27.0		
L.2	平成23年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.33
		一般	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0			
	平成22年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.33
		一般	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0			
L.3	平成23年度	教室	17.5	14.0	19.5	19.5	13.5	18.0	14.5	19.5	7.5	9.5	19.5	19.5	192.0	195.5	16.29
		一般	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5		
	平成22年度	教室	24.0	24.0	27.0	21.0	17.0	20.5	20.5	20.0	16.5	12.0	14.5	26.0	243.0	255.5	21.29
		一般	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	3.5	12.5		
L.4	平成23年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.5	3.29
		一般	0.0	3.0	11.0	2.5	1.0	8.0	4.0	5.0	4.0	0.0	0.0	1.0	39.5		
	平成22年度	教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.5	1.88
		一般	3.0	2.0	4.0	1.0	1.0	2.0	5.0	0.0	0.0	3.5	0.0	1.0	22.5		
L.5	平成23年度	教室	16.0	12.0	14.0	14.0	10.5	10.5	14.0	14.0	10.5	10.5	7.5	7.5	141.0	173.5	14.46
		一般	8.5	2.0	3.5	3.0	0.0	1.5	9.5	1.0	2.0	0.0	0.0	1.5	32.5		
	平成22年度	教室	14.0	9.0	14.0	14.0	9.0	12.0	16.0	15.0	10.5	12.0	12.0	12.0	149.5	187.5	15.63
		一般	3.5	9.0	2.0	2.0	4.0	6.0	6.0	0.0	0.0	2.5	0.0	3.0	38.0		
小計	平成23年度	教室	33.5	26.0	33.5	33.5	24.0	28.5	28.5	33.5	18.0	20.0	27.0	27.0	333.0	442.5	36.88
		一般	10.5	7.0	16.5	11.0	3.0	11.5	18.5	9.0	10.0	2.0	2.0	8.5	109.5		
	平成22年度	教室	38.0	33.0	41.0	35.0	26.0	32.5	36.5	35.0	27.0	24.0	26.5	38.0	392.5	496.5	41.38
		一般	8.5	13.0	8.0	11.0	7.0	10.0	14.0	4.0	2.0	10.0	2.0	14.5	104.0		
合計	平成23年度	教室	44.0	33.0	50.0	44.5	27.0	40.0	47.0	42.5	28.0	22.0	29.0	35.5	442.5	増減	54.0
	平成22年度	一般	46.5	46.0	49.0	46.0	33.0	42.5	50.5	39.0	29.0	34.0	28.5	52.5	496.5		

会議室の使用について、稼働時間数は下記の表のとおりである。
 本年度は、定期的な合唱アンサンブル（ヴォーカルアンサンブルKyoto）の練習での貸し出しのみで、
 ホール併用（出演者が多い場合の控室としての使用）での貸し出しは無かった。

単位：時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	月平均利用時間
V.E.K.															
平成23年度	6.0	9.0	6.0	3.0	3.0	6.0	9.0	0.0	0.0	3.0	9.0	9.0	63.0	63.0	5.25
平成22年度	3.0	3.0	6.0	9.0	3.0	3.0	3.0	6.0	3.0	6.0	0.0	0.0	45.0	61.5	5.13
平成21年度	3.0	9.0	9.0	3.0	9.0	9.0	9.0	6.0	3.0	9.0	6.0	3.0	78.0	94.0	7.83
平成20年度	6.0	3.0	0.0	12.0	3.0	9.0	6.0	9.0	0.0	12.0	3.0	3.0	66.0	86.0	7.17
平成19年度	0.0	9.0	12.0	6.0	3.0	9.0	12.0	6.0	6.0	9.0	6.0	6.0	84.0	98.0	8.17
ホール併用															
平成23年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
平成22年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	7.5	16.5		
平成21年度	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	16.0		
平成20年度	0.0	0.0	6.5	0.0	4.0	7.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0		
平成19年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	7.5	14.0		

3. 顕彰事業

青山音楽賞

青山音楽賞(新人賞・音楽賞・バロックザール賞の総称)は、顕彰規程に従いバロックザール(青山音楽記念館)で開催された公演の中から選考し、個人または団体に授与するもので、2011年度第21回青山音楽賞は、2011年1月から12月の間に開催された当賞に参加申し込みのあった37公演《昨年度45公演》の中から、選考委員の投票を基に審査委員会で審議し、理事会の承認を経て、受賞条件の一つである授賞式の出席を確認した後、受賞者を決定した。受賞者と受賞コンサートは下記のとおりである。また、2012年3月3日(土)に青山音楽記念館において、2011年度第21回青山音楽賞授賞式を開催した。

新人賞

演奏会当日25才以下の演奏者のソロリサイタルを対象とした新人賞2名に、各々賞状・トロフィー・賞金80万円・海外音楽研修費200万円、音楽研修成果披露演奏会の経費財団負担分50万円の目録を贈呈。(年齢は演奏会当日の年齢)

上敷領藍子(25歳 ヴァイオリン)

2011年7月9日(土)開催 『上敷領藍子 ヴァイオリンリサイタル』

寄田真見乃(21歳 尺八)

2011年10月5日(水)開催 『寄田真見乃 尺八演奏会』

音楽賞

演奏会当日26才以上35才以下の演奏者のソロリサイタルを対象とした音楽賞2名に、各々賞状・トロフィー・音楽研修費150万円、音楽研修成果披露演奏会の経費財団負担分50万円の目録を贈呈。(年齢は演奏会当日の年齢)

初田章子(30歳 フルート)

2011年5月21日(土)開催 『初田章子 フルート リサイタル』

フロラン・シャレール(33歳 オーボエ)

2011年6月30日(木)開催 『フロラン・シャレール オーボエリサイタル』

バロックザール賞

演奏会当日36才以上の演奏者のソロリサイタルおよび、デュオ、トリオ、カルテットなど複数の編成や団体での演奏会を対象としたバロックザール賞3名(又は団体)に、各々賞状・トロフィーと賞金100万円を贈呈。ただし、本年度はバロックザール賞対象公演は多数あったが、受賞に該当する公演は選出されなかった。

青山音楽賞新人賞海外音楽研修については、次の2名の受賞者からプランが提出され実施。

川原慎太郎（2010年度受賞・ピアノ）

2011年8月28日から9月5日の予定で、フランスのエクスプロヴァンスにて Academie international les Nuit Pianistiques（ピアノ夜フェスティバル）へ参加。2012年2月27日、スイス・ルツェルン応用科学芸術大学音楽科ソリスト課程に入学。最長3年の予定で研修を行うこととなった。

上敷領藍子（2011年度受賞・ヴァイオリン）

2011年9月1日よりオランダ・マーストリヒ音楽院にて、ヴァイオリニストのボリス・ベルギン氏のもとで研修中。引き続き、芸術家として成長する為に多方面から厳しく指導されておりコンクールにも挑戦し、外へ音楽を発信していくことを心掛ける。その為にさらなる技術の向上、精神性の向上を目指し、毎日の練習を大切に研究していきたい。とのことで、2013年3月までの予定で研修を行う。

研修成果披露演奏会は、次の5公演が実施された。

関本昌平（2005年度新人賞受賞・ピアノ）

2011年4月3日（日）に実施。プログラム前半は、ショパンの英雄ポロネーズ、ノクターン op.27-2、客演にクラリネットの西田宏美を迎えて、ブラームスのクラリネットソナタ op.120-2。後半は、ブラームスの6つの小品 op.118、ショパンの舟歌。

高田匡隆（2008年度青山音楽賞受賞・ピアノ）

2011年6月4日（土）に実施。プログラムは、ベートーヴェンのソナタ第23番 op.57、バルトークのルーマニア民族舞曲・ピアノソナタ、リストの超絶技巧練習曲集より 第8番～第12番。

辻本 令（2007年度新人賞受賞・チェロ）

2011年10月8日（土）、ピアノに須関裕子さんを迎え実施。プログラムは、ベートーヴェンのチェロソナタ第1番 へ長調 op.5-1、ストラヴィンスキーのイタリア組曲、メンデルスゾーンのカelloソナタ 第2番 二長調 op.58。

佐野えり子（2005年度青山音楽賞受賞・ピアノ）

2011年11月3日（木・祝）に実施。フォーレとシューベルトの作品を取り上げた。プログラムは、フォーレの舟歌 第3番 変ト長調 op.42・舟歌 第5番 嬰へ短調 op.66・夜想曲 第6番 変二長調 op.63・夜想曲 第7番 嬰ハ短調 op.74・舟歌 第9番 イ短調 op.101・夜想曲 第13番 口短調 op.119、シューベルトのピアノソナタ第20番 イ長調 D.959（遺作）。

内田佳宏（2007年度新人賞受賞・チェロ）

2011年12月11日（日）ピアノに兼重稔宏氏を迎え実施。プログラムは、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV.1007、プーランクのチェロソナタ、内田佳宏本人の作品で幻想曲、ブラームスのヴァイオリンソナタ 第3番 二短調 op.108。

4. 東日本大震災復興支援活動 総合チャリティー・プログラムの実施

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に対し、平成 23 年 4 月 14 日に京都新聞社会福祉事業団を通じて、東日本大震災救援金として 300 万円を寄附した。その後の避難状況や復興への取り組みの報道から、まだまだ長期間にわたる支援が必要と考え、理事長の提案により当財団が中心となり会館の使用者等皆様のご協力を得て東日本大震災の復興支援として、総合チャリティー・プログラムを実施した。これは、平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日の半年間に青山音楽記念館（バロックザール）の全施設をご利用くださるお客様から頂く施設使用料（ホール・レッスン室・会議室）及び駐車場使用料の全額と同等金額を東日本大震災義捐金として寄付。この企画に賛同いただいた、この期間中のバロックザールでの全演奏会を『東日本大震災支援の為の青山財団総合チャリティー・コンサート』とし、出演者の皆様からのご寄付。館内に募金箱を設置し、演奏会へご来場のお客様からの募金。日頃より演奏会にご協力頂いております業者の皆様からのご支援。職員は勿論、アルバイトをお願いしている方々にもご協力をお願いし、全関係者の皆様のご協力を得たチャリティー・プログラムを遂行した。

目標額を 500 万円としたが、結果、御協力頂いた演奏会はこのべ 55 公演。賛助して頂いた個人及び団体数はこのべ 117 件あり、募金箱及び個人・業者からの募金合計は 1,580,882 円。会館施設使用料・駐車場使用料の同等金額合計は 4,713,105 円。総合計 6,293,987 円を、京都新聞社会福祉事業団を通じて、東日本大震災救援金として寄附した。

【処務の概要】

1 役員等に関する事項

平成 24 年 3 月末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事	青山 政雄	平成 23 年 5 月 28 日重任		無し	指揮者・作曲家	
同	青山 令道	平成 23 年 5 月 28 日重任	理事長	有り	常勤理事	
同	岸邊百百雄	平成 23 年 5 月 28 日重任		無し	相愛大学 客員教授	
同	蔵田 裕行	平成 23 年 5 月 28 日重任		無し	京都市立芸術大学 名誉教授	
同	田隅 靖子	平成 23 年 5 月 28 日重任		無し	京都女子大学 教授	
同	田中 美鈴	平成 23 年 5 月 28 日重任	常務理事	有り	京都市教育委員会 音楽専門主事	
同	小川 賢二	平成 23 年 5 月 28 日就任	常勤理事	有り	事務局長	
監事	桑木 肇	平成 21 年 6 月 1 日就任		無し	公認会計士	
評議員	青山 敦	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	立命館大学 大学院教授	
同	青山 裕司	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	会社役員	
同	岩崎 智実	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し		
同	小久見豊子	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	同志社女子大学 非常勤講師	
同	葛西 進	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	作曲家・指揮者	
同	川村 輝夫	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	音楽評論家	
同	蔵野 雅彦	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	京都市立京都堀川 音楽高校指導教諭	
同	橋本聰一	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	医学博士	
同	平田あゆみ	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	京都市立京都堀川 音楽高校教諭	
同	藤原 靖彦	平成 23 年 4 月 1 日就任		無し	島本音楽協会 会長	

2 職員に関する事項

平成 24 年 3 月末現在

職名	氏名	就職年月日	担当職務	給与	備考
職員	芝田 昭彦	平成 5 年 7 月 11 日	舞台・音響・企画・制作	有り	
職員	戎谷 紀子	平成 6 年 12 月 21 日	受付・経理	有り	
職員	山本 敦子	平成 20 年 9 月 10 日	受付	有り	

3 会議に関する事項

1) 理事会

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成 23 年 5 月 11 日	議長の選任	田中美鈴氏を選任した。
同	平成 22 年度事業報告書案について	平成 22 年度事業報告書案及び監事の監査報告書を配布し、事務局から報告があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおりこれを可決した。
同	平成 22 年度決算書案について	平成 22 年度決算書案を配布し、これについて事務局及び監事からの説明があり、詳細に検討の結果、原案どおり満場一致でこれを可決した。
同	次期役員候補者の選任について	役員に任期満了に伴い、次期役員候補者の人選について諮り、協議の結果、満場一致で次の候補者を選任し、評議員会へ上申することとなった。 理事候補者 青山令道、青山政雄、岸邊百百雄、 蔵田裕行、田隅靖子、田中美鈴、小川賢二
同	定時評議員会の招集について	定時評議員会の招集案が報告され、質疑応答の後、次のように承認された。 日時：平成 23 年 5 月 28 日（土）18:00 ~ 場所：京都市西京区松尾大利町 9 番地 1 青山音楽記念館 財団会議室 議案： 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書案について 第 2 号議案 平成 22 年度決算書案について 第 3 号議案 次期役員の選出について 第 4 号議案 寄付について 第 5 号議案 平成 23 年度共催公演について
同	寄附について	平成 23 年 4 月 14 日に京都新聞社会福祉事業団を通じて、東日本大震災救援金として 300 万円を寄附したことを報告。質疑応答の後、承認。
同	議事録署名人の選任について	本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成 23 年 5 月 28 日	議長の選任	田中美鈴氏を選任した。
同	理事長及び常務理事の選任について	評議員会で選任された役員の中から理事長及び常務理事の人選について諮り、協議の結果、満場一致で次のように決議した。 理事長 青山令道 常務理事 田中美鈴
同	常勤役員報酬について	常勤役員報酬について諮り、協議の結果、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定」に定められた役員の年間報酬総額の範囲内で理事長に一任することを、満場一致で決議した。
同	新たな青山音楽賞審査委員の選任について	新たな青山音楽賞審査委員の人選について諮り、協議の結果、満場一致で山本 毅氏を2011年度青山音楽賞審査委員として選任した。
同	議事録署名人の選任について	本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。
平成 23 年 6 月 29 日	議長の選任	田中美鈴氏を選任した。
同	平成 23 年度追加事業について	別紙「公益財団法人青山財団総合チャリティー・プログラム」を配布し詳細に検討の結果、満場一致で一部の字句の修正を含み、原案どおりこれを可決した。
同	議事録署名人の選任について	本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成 24 年 1 月 7 日	議長の選任	田中美鈴氏を選任した。
同	2011 年度青山音楽賞（新人賞・音楽賞・パロックザール賞）受賞者について	<p>2011 年度青山音楽賞審査委員会より提案された各受賞者についての報告があり、これをもとに逐条的に審議し、原案どおり満場一致で決定した。その後、事務局より受賞者本人に連絡を取り、授賞の承諾及び平成 24 年 3 月 3 日（土）の授賞式出席の確認（授賞の条件）を得た結果次のように選出された。</p> <p>2011 年度青山音楽賞新人賞受賞者及び受賞公演 ・上敷領 藍子【ヴァイオリン】 1986 年 7 月 1 日生まれ 25 歳 2011 年 7 月 9 日（土）開催 『上敷領 藍子 ヴァイオリンリサイタル 』</p> <p>・寄田 真見乃【尺八】 1990 年 9 月 9 日生まれ 21 歳 2011 年 10 月 5 日（水）開催 『寄田 真見乃 尺八演奏会 』</p> <p>2011 年度音楽賞 受賞者及び受賞公演 ・初田 章子【フルート】 1981 年 2 月 4 日生まれ 30 歳 2011 年 5 月 21 日（土）開催 『初田 章子フルートリサイタル パリへのオマージュ 』</p> <p>・フロラン・シャレール【オーボエ】 1977 年 12 月 11 日生まれ 33 歳 2011 年 6 月 30 日（木）開催 『フロラン・シャレール オーボエリサイタル 』</p> <p>2011 年度パロックザール賞受賞者及び受賞公演 ・受賞公演の該当なし</p>
同	2012 年度青山音楽賞選考委員・審査委員、審査委員長・副審査委員長の選出と就任期間	<p>2012 年度青山音楽賞審査委員・選考委員案を配布して、これをもとに逐条的に審議し、原案どおり満場一致で次のように決定した。尚、新審査委員の選出については、改めて理事会で諮ることとなった。また、互選により、2012 年度青山音楽賞審査委員長及び副審査委員長を選出し、就任期間を賞の対象期間と同じ 2012 年 1 月から 12 月までとした。</p> <p>2012 年度青山音楽賞審査委員 青山令道、岸邊百百雄、蔵田裕行、田隅靖子、田中美鈴、福井尚子、山本 毅</p> <p>2012 年度青山音楽賞選考委員 小久見豊子、奥村隆雄、葛西 進、川村輝夫、木村和代、小室彰子、鈴木由喜子、藤原靖彦、平田あゆみ、山本裕樹</p> <p>審査委員長 蔵田 裕行（再任） 副審査委員長 岸邊百百雄（再任）</p>
同	2012 年度主催公演案について	

同	議事録署名人の選任について	<p>2012年度主催演奏会案を配布し審議した結果、原案どおり満場一致で次のように決定した。</p> <p>ルーカス・ゲニューシャスピアノ リサイタル 公演日：2012年7月7日（土） ロシア/リトアニア出身。2010年度ショパン国際コンクール第2位、ポロネーズ賞受賞。 公演料：90万円（税込、宿泊・移動経費込）</p> <p>インゴルフ・ヴンダー ピアノ リサイタル 公演日：2012年12月2日（日） オーストリア出身。2010年度ショパン国際コンクール第2位、幻想ポロネーズ賞、協奏曲賞受賞。 公演料：120万円（税込、宿泊・移動経費込）</p> <p>本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。</p>
---	---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成24年1月22日	青山音楽賞審査委員選任の件	<p>臨時理事会（書面）として実施。下記提案事項に関して、理事全員が同意の意思表示をするとともに、監事から異議が述べられなかったため、定款39条の規定により、各提案事項を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会の決議があったとみなされた日 平成24年1月22日 2. 理事会の決議があったとみなされた事項の提案者 理事長 青山令道 3. 理事会の決議があったとみなされた提案事項 青山音楽賞審査委員選任の件 三井ツヤ子、平田あゆみ両名を2012年度青山音楽賞審査委員とする。 4. 議事録作成に係る職務を行った理事氏名 小川賢二 <p>本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。</p>

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成 24 年 3 月 21 日	議長の選任	田中美鈴氏を選任した。
同	平成 24 年度事業計画書案及び予算案承認について	平成 24 年度事業計画書案及び収支予算書案を配布し、これについて事務局から説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおり可決した。
同	平成 24 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	成 24 年度の資金調達及び設備投資に関して、事務局より見込みはないとの説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおり可決した。
同	規則案の承認について	「評議員会運営規則案」「理事会運営規則案」「情報公開規則案」「職員就業規則案」「経理規則案」「基本財産及び特定資産管理規則案」「公印管理規則案」を配布し、これについて事務局から説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおりこれを可決した。
同	青山音楽賞新人賞の海外音楽研修について	当音楽賞設立当初（1991 年）には、一般的にも海外留学をする方は少なく、受賞者の中で長期海外留学をされる方が多数おられた。しかしながら、最近の受賞者研修の傾向としては、既に海外留学を終えた方（または、留学中）や、短期の夏期講習受講やコンクール参加などの海外留学をされる方が多くなり、本来財団が希望する長期海外留学をする方が減ってきている。また、賞対象者も海外の方や邦楽器の方が増えており、今後の青山音楽賞新人賞海外音楽研修の研修内容や研修費の額について検討したが、結論が出ず、次回の理事会で再検討することとなった。
同	定時評議員会の招集について	定時評議員会の招集案を報告し、質疑応答の後、以下の召集案を承認可決した。 日時 平成 24 年 3 月 28 日（水） 18:00 ~ 場所 京都市西京区松尾大利町 9 番地 1 青山音楽記念館 財団会議室
同	議事録署名人の選任について	議案 第 1 号議案 平成 24 年度事業計画書案及び予算案承認について 第 2 号議案 平成 24 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり定款に従い理事長の青山令道氏と監事の桑木肇氏を議事録署名人に選任。

2) 評議員会

開催年月日	議事内容	会議の結果
平成 23 年 5 月 28 日	議長の選任	藤原靖彦氏を選任した。
同	平成 22 年度事業報告書案について	平成 22 年度事業報告書 案を配布し、これについて事務局から報告があり、詳細に検討の結果、満場一致で一部の字句の訂正を含み、原案どおり承認した。
同	平成 22 年度決算書案について	平成 22 年度決算書 案及び監事の監査報告書を配布し、これについて事務局及び監事からの説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおりこれを可決した。
同	次期理事の選任について	任期満了に伴い、平成 23 年 5 月 11 日開催の理事会で選任された次期理事候補者の人選について諮り、協議の結果、原案どおり満場一致で次の方々を理事に選任した。 青山令道、青山政雄、岸邊百百雄、蔵田裕行、田隅靖子、田中美鈴、小川賢二 以上 7 名
同	寄附について	平成 23 年 4 月 14 日に京都新聞社会福祉事業団を通じて、東日本大震災救援金として 300 万円を寄附したことを報告。質疑応答の後、満場一致で承認した。
同	平成 23 年度共催公演案について	本年 3 月 9 日に京都市立京都堀川音楽高等学校の大江加津雄校長より、平成 23 年 2 月 26 日(土)に実施したピアノコンサートのお礼と、本年度も平成 24 年 2 月 25 日(土)に共催していただきたい旨の申し出があったことを報告。質疑応答の後、満場一致で承認した。
同	議事録署名人の選任について	互選により、青山裕司氏及び小久見 豊子氏を選任した。
平成 24 年 3 月 28 日	議長の選任	藤原靖彦氏を選任した。
同	平成 24 年度事業計画書案及び予算案承認について	平成 24 年度事業計画書案及び収支予算書案を配布し、これについて事務局から説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおり可決した。
同	平成 24 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	平成 24 年度の資金調達及び設備投資に関して、事務局より見込みはないとの説明があり、詳細に検討の結果、満場一致で原案どおり可決した。
同	議事録署名人の選任について	互選により、藏野雅彦氏及び平田あゆみ氏を選任した。

4 主務官庁の許可、認可及び承認を受けた事項の執行状況

許可等年月日	執行状況
平成23年3月31日	内閣府より公益財団法人として認定
平成23年4月1日	公益財団法人へ移行登記、完了
平成23年4月14日	移行登記完了届出書を、関係書類を添えて提出
平成24年3月30日	平成24年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類等提出（電子申請）

5 行政官庁指示に関する事項

該当無し

6 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
平成23年4月1日	株式会社ジュージャ	ピアノ保守点検の年間契約 スタインウェイ ×2台（年2回 8月・2月） ヤマハU3A ×4台（年2回 9月・3月） ヤマハU3A ×1台（年1回 3月）
平成23年4月1日	株式会社 B-tech Japan	ピアノ保守点検の年間契約 ハーゼンドルファー ×1台（年2回 8月・2月）
平成23年4月1日	野口計画管理株式会社	建物保守管理委託の年間契約 ・ 高圧受電設備精密点検業務（1回/年実施） ・ 高圧受電設備点検業務（1回/月実施） ・ 消防設備点検業務（2回/年実施） ・ 汚水槽清掃業務（1回/年実施） ・ 遠隔監視・防犯警備業務（通年24時間） ・ 空調・給排気設備点検業務（4回/年実施） ・ 空調設備自動運転設備点検業務 （2回/年実施） ・ 防火対象物定期点検業務（1回/年実施）
平成23年4月1日	スワン商会	業務委託契約 清掃管理業務（日常及び演奏会終了後） 平成23年4月1日～平成24年3月31日

契約年月日	相手方	契約の概要
平成 23 年 5 月 16 日	株式会社損害保険ジャパン	傷害保険の契約（青山理事長・田中美鈴常務理事） 平成 23 年 5 月 17 日～平成 24 年 5 月 17 日
平成 23 年 6 月 1 日	東京海上日動火災保険株式会社	火災保険、施設賠償責任保険、動産総合保険、受託者賠償責任保険の契約更新 平成 23 年 6 月 2 日～平成 24 年 6 月 2 日
平成 23 年 10 月 22 日	田島維久子	平成 24 年度年間使用契約 レッスン室 水曜日・金曜日（バイオリン教室）
平成 23 年 10 月 22 日	市原知子	平成 24 年度年間使用契約 レッスン室 土曜日（ピアノ教室）
平成 24 年 3 月 1 日	東京海上日動火災保険株式会社	ガラス保険契約申込 玄関ガラス保険 平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 3 月 1 日

7 寄付金に関する事項

昨年の第 20 回青山音楽賞授賞式（平成 23 年 3 月 5 日実施）の理事長挨拶にて、青山音楽賞創設 20 周年に当たり、この 20 年間本事業を無事継続出来た事に対して、世の中への恩返しとして、音楽賞賞金総額と同じ 1,360 万円を、世界の天災と紛争に依る難民、特に不幸な子供たちの救済活動に寄付することを提言し、拍手を持って賛同された。ところが、授賞式の 6 日後に東日本大震災が発生し、事態の緊急性を考え 4 月 14 日に京都新聞社会福祉事業団へ義捐金として 300 万円寄付した。（平成 23 年 5 月 11 日の理事会および 5 月 28 日の評議員会で事後承認）。

その後、世界の反応と報道により、震災の被害の甚大さと原発事故の危険性を含めた重大さが、ひしひしと感じられる中、熟考の上、チャリティ・プログラムを企画・実施。平成 23 年 7 月 1 日から半年間、このチャリティ・プログラムの趣旨に賛同頂いた主催者の公演等のホール使用料、レッスン室使用料、会議室使用料、駐車場使用料と同額金額合計 4,713,105 円を、京都新聞社会福祉事業団を通じ、東日本大震災義捐金として寄付した。

また、国境なき医師団日本へ平成 24 年 1 月 23 日に 200 万円、公益財団日本ユニセフ協会へ平成 24 年 2 月 15 日に 200 万円、公益財団法人プランジャパンへ平成 24 年 3 月 15 日に 200 万円を寄付。

その結果この 1 年間の財団としての拠出義捐金は総額 13,713,105 円となった。

8 その他重要事項

該当なし